



三鷹市市民協働センター

ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

5月3日(火)は祝日のため開館します
5月6日(金)が休館日となります

このたびの東北関東大震災で被害に遭われたみなさまには、
心よりお見舞い申し上げます。

三鷹市市民協働センター計画停電について

三鷹市市民協働センターは計画停電の予定はありませんが、東京電力によると、計画停電の予定のない地域でも、電力の需要が増加し、供給力の不足が懸念される場合には、停電が実施される場合もあるとのことです。

東京電力の計画停電の実施状況によっては、急きょ停電する場合があります。停電中は、館内施設(照明、エアコン、印刷機、パソコン等)は使用できません。

なお、三鷹市市民協働センターでは節電のため、照明やエアコンなど電気機器の使用を控えています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

三鷹市市民協働センターは4月1日(金)より通常開館しています。

開催します

We held the coaching lecture



子どもの学校生活の
安定とやる気を引き出す

★小学生ママのためのコーチング講座★

親子会話術

♪市民の底力事業(市内の人財の方に講師になっていただいています)♪

4月15日(金)	子どもの心の安定をつくる秘訣
4月22日(金)	子どものやる気を引き出す会話術



連続講座・1回参加もOK いずれも午前10時~正午
参加費:各回 1,000円 (会場でお支払いください)

親子のコミュニケーションに迷っていませんか?

この講座では、新学期が始まり不安になりがちな子どもたちに対して、楽しい会話の循環を作るはずせないコツと事例紹介、体験ワークから「わかった!」の声とママの笑顔が広がります。会話ですので簡単で、子育てやあらゆる場面で活かせます。わかりやすい説明と体験談が好評♪
このチャンスに是非どうぞ!



講師紹介 高野まゆみさん
(コミュニケーション・ファーム代表 コーチ)
三鷹おやこひろば他でコーチング講座を多数開催。3児の母。

- 【対象】小学生の子どもをもつ父母
子どもに関わっている方、ご興味のある方
- 【参加人数】25人(先着順)
- 【申込方法】電話・メール・FAXによりお申し込みください
- 【会場・申込先】三鷹市市民協働センター(三鷹市下連雀4-17-23)
- 【主催】特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク



<1ページ>「三鷹市市民協働センター計画停電について」、開催します「子どもの学校生活の安定とやる気を引き出す親子会話術」<2ページ>開催しました「シンポジウムうちの会社も市民です」、「登録更新について」<3ページ>開催しました「チラシ講座市民活動にデザインを活かそう」、「協働センターで冊子を発行します」(4ページ)チョコっとあつぷる一む、センターの花の植替えをしていただきました

シンポジウム

うちの会社も市民です

このまちをよくするために
企業ができること

3月6日開催 参加人数:62名

春光うらかな日曜日、50名の定員を上回る62名の参加があり市民の関心の高さがうかがえました。コーディネーターの長島さんのスムーズな進行により、参加者から寄せられた多くの質問にパネリストの方々の本音の回答が引き出されました。交流会も大盛況で、新しいつながりも生まれました。



基調講演・コーディネーター：長島 剛さん

(多摩信用金庫価値創造事業部法人支援担当兼地域支援担当部長)

講演「はじめての多摩&地域貢献 CSR・CB・SBとは？」では、多摩地域と三鷹市のデータについてグラフ等を用いての説明があり、その後に用語の解説と具体例の紹介がありました。CSRが、企業が利益を追求するだけでなく、社会へ与える影響に責任を持ち意思決定をしていくことをさすことなどの説明が具体例を交えてありました。



芦野信司さん

(日本無線株式会社 CSR推進室長)

日本無線では、環境に対する取り組みや社員と地域の協働事業などの実例紹介がありました。

小林幸忠さん

(武蔵野三鷹ケーブルテレビ株式会社企画室部長)

ケーブルテレビでは、地元情報の発信をはじめ地域イベントなどへの参加などの実例紹介があり、市民活動団体からの取材依頼や情報をお待ちしているとのことでした。



佐藤文典さん

(アツデン株式会社代表取締役社長、第16代三鷹商工会会長)

アツデンでは、市民活動団体に会社で製造している機材の貸し出しなどを行っていることや社長としてCSRをどう考えているかなどのお話がありました。

原元利浩さん

(株式会社環境管理センター)

環境ソリューション事業部)

環境管理センターでは、小学校の理科の授業を通して地域貢献をしていました。実際に地域貢献をして「おかげさま」という意味が分かったとのお話がありました。



市民レポート

「うちの会社も市民です」 あっ！ そ〜だ！！と気づかされるキャッチコピーに誘われて参加した。地元企業と知っていても、なかなかご縁がない。

その地元企業が地域貢献に取組み、方法を模索している。一方、市民活動団体も活動や運営などを模索している。この両者がタックを組んで街づくりを目指すきっかけ作りにと企画された。

「市民と企業」このマッチングは新しい活路を見出せそうだ。シンポジウムは基調講演・企業の事例紹介と続き、次に市民からの具体的な積極的な質問が寄せられた。ここまでで両者の距離はかなり近づき交流会では、優勝の一球をベンチから体を乗り出し待ち焦がれるナインの様に一勢にパネラーに駆け寄る参加者が列を成した。確実に双方が協働を必要としている。

一日も早くマッチングが実現出来ことを祈り、市民活動を支援する協働センターに期待したい。

(文・物江純子:三鷹市市民協働センターライター講座受講生)



シンポジウム後の名刺交換会では、活発な交流がありました。

参加者の声

◆ 日本無線の芦野さんがおっしゃった「製造業のCSRとして最も大切なことは製品の品質をあげることと法令遵守である」という企業側の考え方はCSR＝企業が何かしてくれる、と思っていた市民側の私からは新鮮でした。

◆ 社会貢献のあり方、企業のみならず、企業人としての心構えも大切と感じました。小さな勇気ある第一歩をどう実現させていくかという事が地域を住みやすくすることにつながると思います。参加者同志のつながりが重要。

◆ 市民と企業が出会いこれからいろいろなことが広がっていき第一歩の機会になったと思います。基調講演で様々な事例を知ることが出来、多摩の現状と私たちのこれからのについて、大きな可能性と希望を持ってました。

◆ 企業の思いがわかりとてもよかった。つながりができるいいきっかけのシンポジウムだった。企業と市民をつなぐ協働センターの役割を強く感じた。

◆ 地元企業の社会貢献の現況を知ることができ大変有意義でした。ぜひシリーズ化して、企業や作業所、授産所などの現状も知りたい。もしかしたらマッチングできるかも。

◆ 三鷹の市民活動と協働したい企業とのマッチングがすごく大切、新しい可能性が生まれる気がします。今後たくさん企業をご紹介いただけると嬉しいです。

◆ 自分の住んでいる近隣の活動、他社のCSR活動を知れたのは有意義でした。改めて自社でどういったCSR活動をしているのか調べてみようと思いました。

News of "the registration update"

登録団体のみなさまへ

登録更新について

協働センターの開館時間変更に伴い、協働センターの団体登録の更新について、期限を延長し、4月末までとします。

また、申請から2週間後までにする予定でした団体登録更新に係るご連絡についても、4月以降とさせていただきます。

チラシづくり講座 市民活動に デザインを 活かそう

3回の講座で参加者が実際にチラシをつくる実践型講座で、主役は参加者、講師陣は応援団。自発性を引き出すことができたのではないかな？！その点が嬉しかったです。おいしいお茶と楽しい交流、アットホームな会となった。



2月12日・19日・26日開催 参加人数：計42名
講師：富岡史棋さん アシスタント：林田全弘さん

市民活動にはチラシづくりが欠かせません。講座には、17人の皆さんが3日間にわたり参加し、デザインやキャッチコピーに挑戦しました。企画、ラフデザインそして仕上げの段階で、2人の講師から適切な、時には率直な講評をいただきながら、一方、受講仲間からは温かいコメントもあり、実のあるかつ和やかな講座でした。さらに盛り上げたのが、講師による茶菓の提供とマイカップの持参という、くつろいだ雰囲気でした。講座の終了時には、仲間で継続的に活動をしたいとの提案があり、楽しみなグループが誕生しました。なお、完成した作品は、協働センター内に掲示をする予定です。

(文・本山幸彦：情報広報部会)

参加者の声と講座の様子

講師の説明に真剣に耳を傾ける受講者



- ♪他の団体の活動を知ることができ刺激になった。
- ♪気軽な気持ちで参加しましたが、一つ一つの授業内容が身になり、どんどん真剣になりました。自分の持っていたアイデアが形になることがデザイン！！
- ♪自分の携わる活動についてあらためて振り返る良い機会になった。「デザイン」の定義、意味を考えて、次の展開につなげるヒントをもらった。参加者の活動や思いを知ったことも大きな経験。
- ♪「何を伝えたいかを自分で考える」「他人の意見を聞く」ということが勉強になった。
- ♪参加者との交流、色々伝えたい

ことを持った色々な人々がチラシを作る、意義深い。
 ♪チラシ作りのセオリー/気をつける点。プロからのアドバイス、アイデア・・とてもありがたかったです。保育付大変うれしかったです。
 ♪チラシを作るとき何からはじめたらよいかがよくわかっていなかったのが、整理された。
 ♪「たかがチラシ」「されどチラシ」とも興味のある内容でした。入り口は入りやすいのですが、奥が意外にも深かった。



作品の出来に大満足
笑顔の受講者

見事に完成！

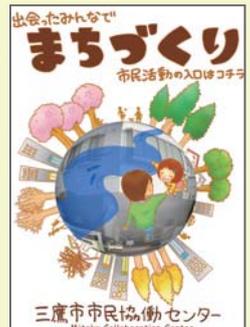


We will publish a booklet soon

★☆☆☆☆協働センターで冊子を発行します☆☆☆☆☆

がんばる地域応援プロジェクトの冊子が発行されます。助成対象となった11の団体の事例、提案された16の連携・協働事業の紹介、発表会の様子等が分かりやすく掲載され、まちを活性化させるヒントが多数盛り込まれています。

★ 三鷹市市民協働センターのパンフレットが新しくなります。
 ★ ライター講座の受講生と東京経済大学広告研究会のみなさんと協働作成。あたたかい手書きタッチで、設備などのより詳細な情報が入っています。





チョコっとあっぷる♪



※時間はいずれも10:30～12:00

月日	テーマ・内容	参加費	担当
① 4月4日(月)	マタニティヨガ ～ゆったりヨガで 安産力を養いましょう～	1,500円	花莉屋 (日本マタニティヨーガ協会会員)
② 4月7日(木)	「bloom～ 生まれたのは私」ふれあい上映会 ～上映後感想などをシェアするお茶会開催～	800円 (手作りお菓子付)	NPO法人 子育てコンビニ
③ 4月11日(月)	ヨガママ(ハイハイ以降) ～ママの為のヨガで骨盤整えリフレッシュ～	1,500円	花莉屋
④ 4月14日(木)	もっと知りたいみたかの幼稚園 ～「みたか幼稚園ガイド」製作裏話もきけます～	800円 (三鷹幼稚園ガイド・ 手作りお菓子付)	NPO法人 子育てコンビニ
⑤ 4月16日(土)	マタニティ・ベビーサイン ～お腹の赤ちゃんときずなを深めましょう～	1,800円 ご夫婦は2,000円 (ガイド・土産付)	Mama & Baby
⑥ 4月21日(木)	スリングの選び方・使い方 ～赤ちゃんスヤスヤ、ママはにっこり～	1,500円	はっぴいまむず
⑦ 4月23日(土)	ベビーマッサージ ～パパもママも赤ちゃんときずなを深めましょう♪～	1,800円 ご夫婦は2,000円 (オイル代込)	Mama & Baby
⑧ 4月25日(月)	産前・産後の骨盤ケア ～知って整え、お産も産後も安心～	2,000円 (さらし付)	はっぴいまむず (助産師・整体師) 谷 京子
⑨ 4月28日(木)	ベビーサイン ～赤ちゃんとお手でお話しましょ♪～	1,800円 (ベビーサインはじめて ガイド・土産付)	Mama & Baby

わ残り
ずり
か

満員
御礼

満員
御礼

【定員】 10組(ただし①は9組、②は8組、③は7組、⑦は6組)

【対象】 おおむね0～3歳のお子さんを持つ親子
及び妊娠中のお母さん

【会場・申込み・問合せ】 三鷹市市民協働センター

☆先着順

☆全日：保育ありません。
☆お車でのご来場はご遠慮
ください。



★お持ち物など詳しい内容のお問い合わせ・お申込みは協働センターへ★

We planted flowers

センター花壇の 花の植替えをしていただきました 3月9日

前々日の雪から一転、少し春の日差しが戻ってきた花植え日和、金魚のしっぽのような形をした小さな花をたくさんつけるリナリア(別名：姫金魚草)と菊のような白い花を咲かせるノースポールを植えました。生ゴミを土に返して活かす会の皆さん、どうもありがとうございました。



■町会自治会へ ニュースレターを配布させていただきます

協働センターニュースレターは町会自治会など地域自治組織に無料で配布させていただきます。組織単位でご連絡いただければお届けさせていただきます。町会自治会の皆様、ぜひご検討ください。

ニュースレター配布場所

るま・ばぐーす、一圓(ラーメン店)、グラナダ(レストラン)、きものサロンひさみね、ハローワーク三鷹、各コミュニティセンター、各市政窓口、各図書館、その他市の公共施設、近隣市区の市民活動支援センター

発行日：平成23年4月1日

発行：三鷹市市民協働センター

(特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

Eメール: kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ: <http://www.collabo-mitaka.jp>

開館時間: 9:00am-9:30pm

受付時間: 9:00am-9:00pm

休館日: 火曜日(祝祭日は開館し、直近の平日を休館とします。)

Editor's note.

編集後記: 私が受けた震災の影響・家の中、物が少し落ちる(破損物なし)。節電でわずかな暗さ寒さに耐える。スーパーの商品が品薄で必需品が手に入りにくい。水道水が放射能汚染と惑わされる。交通がやや不便になる。テレビの向うの被災者の現実と比べると塵のようなものだ。同じ日本のわずか数百キロ離れた地で起きた悲劇に、同じ痛みで立ち向かうことはできないけれど、想像力を働かせ、復興を祈りながら、出来ることから始めよう、そして忘れることなくやり続けていこう。